



特定非営利活動法人フードバンクとくしま

～2020年9月～

●「一食(いちじき)を捧げる運動」より寄付をいただきました



8月5日(水)立正佼成会よりご連絡をいただき、寄付をいただきました。

「一食(いちじき)を捧げる運動」は、世界各地で起きている災害や紛争、貧困などで苦しむ人びとに思いを寄せ、毎月1日と15日、食事を抜いて空腹感を味わい、抜いた一食分の金額を、様々な支援活動に役立てる、生きる喜びを分かち合う運動です。(立正佼成会HPより)

戦争で傷ついている子どもたちに文房具を送ったり、病気の方々に毛布を届けたりしているそうです。

今回、コロナ感染拡大の中、大学生や困窮している方にフードパントリー活動を行っているフードバンクとくしまに賛同いただき、寄付をいただきました。

清田理事長からは、「いつもフードバンクとくしまの活動にご協力いただき、たいへんありがとうございます。先日は防災備蓄品をいただいた上、今回の多額の寄付でご支援下さりありがとうございます。大切にさせていただきます。」とお礼を述べました。ありがとうございました。



●城北高校生がやって来た！(2グループ)



可愛らしい高校生たちが、フードバンクとくしまを訪問してくれました。1グループは、授業の一環でグループごとにSDGsについて学習しており、生活困窮者やこども食堂について話を聞きにきてくれました。

もう1グループは、なんと！フードバンクとくしまの活動を支援してくれるため、4名で募金活動を行ってくれました。猛暑の中、本当にありがとうございます。

8月29日(土)、事務所まで募金を届けてくれました！大切に大切にさせていただきます。



●城西高校の先生がやって来られた！（お一人）

城西高校では、台風で被災した熊本に支援物資を送るため、フードドライブを行いました。被災地の熊本に送るため、集まった支援物資をお持ちくださいました。物資は、フードバンク熊本へと送らせていただきました。



●「事業系食品ロス削減ワークショップ」に出席したこと



8月28日（金）、岡山県事業系食品ロス削減モデル事業「事業系食品ロス削減ワークショップ」に事務局長が講師として呼んでいただき、参加してきました。

岡山県の職員や食品関係の企業、2つのフードバンクが参加し、「フードバンクの利用者について知る」「フードバンクへ食品を寄付する事業者について考える」「フードバンクの持続的発展可能性について考える」の3つのセッションでそれぞれの意見を出し合い、表にまとめて発表しました。同じことで困っていたり、新しい方法や考えを模索したり、たいへん有意義な時間でした。

コロナ感染防止の取り組みとして、マスク着用の上からフェイスシールドを着けてのワークショップでした。慣れていないので、ついシールドの上から鼻をかいたり、水を飲もうとしたりして慌てましたが、興味深い体験でした。珍しいので、きれいに拭いてお土産に持って帰り、装着の仕方を実演しましたが、「いらん」と冷たく言われました。そりゃそうか。

●8月に食品をご提供くださった皆さまです。ありがとうございました。（いただいた順）

- ・マルハ物産株式会社 レンコン
- ・鳴門市 フードポスト
- ・コープ自然派 パン・バナナ
- ・コープ有機 バナナ
- ・農業大学校 きゅうり
- ・解脱会 お菓子
- ・アオアヲナルトリゾート 和三盆、調味料、飲料他
- ・JA 東とくしま 野菜
- ・阿南市社会福祉協議会 お米、カップ麺、缶詰、調味料 他
- ・徳元商店 ささがきごぼう
- ・城西高校 フードドライブ
- ・とくしま生協 290 kg分の商品
- ・徳島県環境首都課 フードドライブ
- ・寿量寺 ジュース他
- ・カゴメ株式会社 野菜ジュース
- ・メーアコルン パン
- ・上原鍼灸指圧治療院 お米
- ・かいようファミリーサポートセンター（県立南部防災館から） アルファ米
- ・健生さわやか お米
- ・市民の方 21名 お米、その他

